

総合情報センター報

Library and Information Technology Center



CONTENTS ▶▶ 特集 図書館の利用講習会
“情報探索の技”に参加しよう…………… 1

パソコン利用者講習会に参加しよう…………… 6

「同志社大学学術リポジトリ」の現状と今後
～検索しよう！登録しよう！～…………… 8

電子リソース活用術
～バーチャル書庫の最新資料、紹介します～ 9

所蔵資料紹介
わが山旅 田淵行男山岳写真集…………… 10



秋の常念・大滝(4) キレットに沈む月(常念小屋にて)

田淵行男 (1905～1989)

安曇野に在住した写真家。高山蝶、アシナガバチの研究者でもある。

参考：ナチュラリスト・田淵行男の世界
山と溪谷社 2005

田淵行男記念館 長野県安曇市豊科南穂高5078-2
作品など約72,000点を収蔵。写真、カメラ、テントなどの登山用品などを展示。

開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時半まで)
休 日：月曜日、祝日の翌日、12月28日～1月4日

DOORSサプリ

田淵 行男 へのアプローチ —参考文献一覧に代えて—

DOORSサプリは、通常の蔵書検索に+αの技を紹介しています。図書館HPで見かけられないWeb版DOORSサプリも随時更新中！

田淵 行男 の文献を探す 【1回の検索だけで諦めていませんか？】

田淵 行男 をMAGAZINEPLUSやCiNiiで検索するとDOORSにHITしない雑誌があります。

論文タイトル	書誌事項	閲覧について
東京都写真美術館 「ナチュラリスト・田淵行男の世界」展より —「日本の山」絶勝(サライ美術館)	『サライ』 17巻 9号 (小学館 2005.5)	雑誌名「サライ」をDOORSで再検索すると、同志社女子大学今出川図書館に所蔵があります。女子大へは、学生証提示で事前申込みなしの館内閲覧ができます。
山路随想	『俳句』 5巻 8号 (角川書店 1957.1)	『俳句』は本学文学部図書室にあります。館内閲覧ができます。
加越の雪形と信州・安曇野の小さな記念館	『気象』 505号 (気象庁、日本気象協会 1999.5)	『気象』は本学には所蔵していませんが、【財団法人大学コンソーシアム京都共通閲覧システム】を適用できる近隣の大学図書館で館内閲覧ができます。

等々、1回のキーワード検索でHITしなくても、雑誌名で検索したり、キーワードを変更することでDOORSにHITすることがあります。たとえ本学に所蔵がなくても相互利用や閲覧できるサービスがいろいろあります。また直接赴くことにより、付随資料や普段利用しない図書館の所蔵資料を気軽にチェックできます。そこには新たな発見があるかもしれません。(詳しくは図書館レファレンスカウンターで案内しています。)

田淵 行男 の撮影場所を訪れる【DOORSにはHITしない参考図書が存在を知っていますか？】

旅行ガイドは、両校地図書館の参考図書室に専用書架を設けてあります。国内外問わず数種類所蔵し、随時購入もしています。残念ながら貸出はできませんが、著作権の範囲内で複写ができます。図書館には実際に来館し、自分で手にとってみたいと分からない資料もあります。(常時受付の図書館ツアーでは館内施設を案内します。[所要時間30分])

申込：図書館メインカウンター 受付時間：平日午前10時～午後4時

こんなとき…	書誌事項	配架場所
自分で名所を選んで歩いて回りたい	『歩く地図 Nippon⑧ 松本・上高地』 (山と溪谷社 2003)	両校地図書館 参考図書室
温泉と初級用トレッキングを楽しみたい (1泊2日コース)	『タビリエ⑩ 上高地 奥飛騨 温泉郷』 (JTBパブリッシング 2006)	両校地図書館 参考図書室
上級用トレッキング撮影とサイクリングをしたい (2泊3日コース)	『タビリエ⑪ 立山 黒部 白馬』 (JTBパブリッシング 2006)	両校地図書館 参考図書室

安曇野市から白馬村まで約50kmの地域には、世界でも珍しい美術館密集地「安曇野アートライン」があります。点在する美術館約20館をラインで結んだもので上記の**田淵行男記念館**もここに含まれます。**田淵行男**の世界を体験してみませんか？

特集 図書館の利用講習会 情報探索の技に参加しよう！

学び方の「コペルニクス的転回」

皆さんはもう図書館に足を踏み入れましたか。高校の図書室とくらべて、置いてある本の量と質が格段に違うでしょう。ちなみに高校の平均蔵書冊数は約2万5千冊、年間資料購入費は約100万円、同志社大学では約230万冊、約10億円。なぜ、こんなにも差があるのでしょうか。答えは、大学に入ると学習の仕方がこれまでと全く異なるからです。学習方法の「コペルニクス的転回」を皆さんはこれから体験するはず。

試しに、今後皆さんが直面するレポートの課題、例として社会学部科目「福祉と人権」の課題をみてみましょう。

「各自がもっとも関心のある福祉問題のうちで、人権が侵害されている状況の一つ取り上げ、その現状をまとめ、その問題点と対策を自分の言葉で論ぜよ」(2006年度春学期)

高校までの、知識の記憶力を問う試験問題とはおおきく違いますね。大学では課題を通じて、「自ら学び、自ら問題を発見し、自ら解決する」ことが求められています。

「関心を持つ」ためには①**福祉と人権侵害の概要を調べ**、②**自分が興味をもてる「状況」に絞り**、③**テーマを設定するために、これまでの議論や研究を多角的に系統立てて調べる必要**があります。こうした作業は、図書館が提供する資料・情報を参照せずにはできません。だからこそ皆さんには、大学生活で図書館を活用することが求められているのです。



上…いろいろ知りたいけれど、どうやって？何から調べたらいいの？という方に、図書館が主催する講習会のお知らせや、情報探索の技を紹介しています。
http://www.doshisha.ac.jp/library/technique/index.html
下…資料探しに大活躍の各種データベース。
学術的で信頼できる情報源をカテゴリー別に紹介しています。
http://www.doshisha.ac.jp/library/database/index.html

図書館が利用講習会プログラムを提供する理由

多くの先輩たちと同様におそらく皆さんも、初めは次のような窮地に立たされることでしょう。

❶ ます何からはじめたらいいかわからない。

❷ 学びたい物事、調べたい物事のイメージをうまく言葉（キーワード）にできない。

❸ 資料や情報を探すのに、どのような手がかりがあるかわからない

しかし頭を抱え、手をこまねいていても解決にはつながりません。まず「何をテーマにして、どう書くか」を決めるために、対象とする物事について、学びはじめてください。「何を学ぶかは、とにかく学んでみないとわからない」からです。そして、この知識を得る材料は、必ず図書館にあって、皆さんの利用を待っています。

教科書を読んだだけでレポートを書こうとした人。机上で適当なテーマを決めたが、関連資料が世の中に存在せず、何もできずに天を仰いだ人。これでは前に進めません。

何かを学ぶには、まず自分自身で対象となる事柄を調べることが出発点です。そして調べ方は、実際に調べる「作業」を体験しないかぎり身に付きません。その作法を図書館は利用講習会プログラム群：情報探索の技で提供しています。各講習会は、学期始めと試験（日程の詳細は掲示およびホームページ参照）前に開催し、両校地図書館のカウンター窓口で受付ています。また、クラス単位での申込にも対応しています。大学図書館は、学びの立脚点となる文献や情報を提供するだけでなく、それらの活用法を具体的に示すことで、学びの跳躍台の役割を果たします。

それでは、個々の講習会についてご紹介しましょう。

1. ますは、図書館の使い方を：入門編

まず始めに、二百万冊を超える図書館資料を利用するには、図書館の約束ごとを覚えてください。館内をぶらぶらして居並ぶ本を適当に抜き出す。それでは、「これだ！」という本に容易にはたどりつけません。質も、種類も、量も高校の図書室とは桁違いなのですから。学内にある本を探すには、DOORSという同志社大学蔵書検索システムの操作法を覚えましょう。例えば、本の置き場所を示す「請求記号」に表示されている数字やアルファベットの意味を知っていますか？こうした基本を知ってもらうために、**入門編講習会「役立つ図書館活用術」**を設けています。まずは図書館に行ってみて、資料や情報に触れ、図書館で何ができるのかを知ってください。

2. 本・雑誌記事・新聞記事で予備知識を：初級編

次に図書館の多種多様な資料を使って、課題に対する予備知識を得る努力を始めます。悩む暇があるなら、まずは「調べる」「探す」

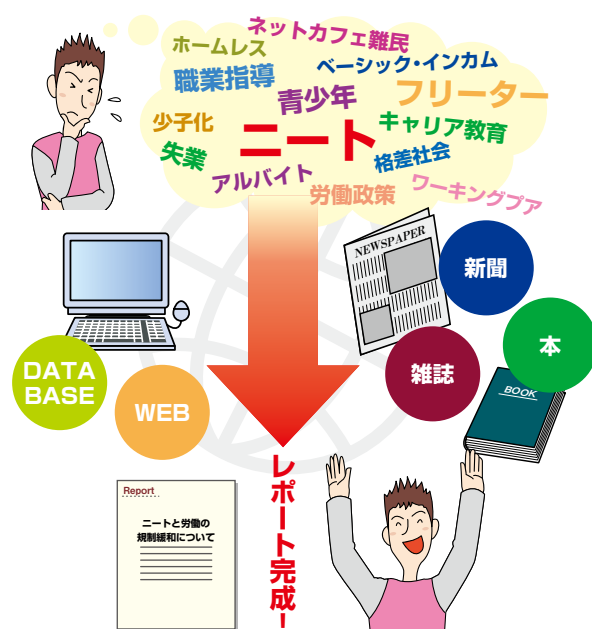


作業で汗を流してください。そうすれば探しているうちに、自分の欲しい資料や情報が目の前に輪郭を持って立ち現れてくるのです。

図書館ではどの分野を学ぶにも役立つ本・雑誌記事・新聞記事の探し方を紹介する講習会を開催しています。例えば、「ニート問題」に関する入門書や概説書はどのように探すのか。ニート対策を論じた学術論文や特集雑誌記事はあるのか。ニートが社会問題になってきた経緯を新聞記事からどう取り出せばよいか。などについて、基本的な情報探索の仕方を30分で知ることができます。

この**初級編“30分でわかる！”講習会**に参加すると、自分の興味関心を明らかにするための基礎技術が身に付きます。

たとえば、
ニートに関連してレポートのテーマを設定するには…



3. いよいよテーマの設定を：中級編

概要をつかみ予備知識が得られれば、いよいよテーマを絞って発展させる段階です。どう問題を切り出すのか、どういった着眼点から絞るのか。より深化した調査が求められます。

初級編は、単に情報を見つけ出す「技」に重きをおき、「調べるための肉体労働」の側面が強いのですが、中級編では、**❶ 調べた情報を整理し、その関係を把握します。**例えば、ニートについて調べる時には、ニートとフリーターの違い、国の管轄機関（厚生労働省・内閣府）に

よる定義の違い、労働市場の規制緩和とニートとの関係を把握するなどです。そして**❷ 整理した問題やテーマについて、どのような資料を優先的に使うか、本や雑誌・公的資料など、その特性に応じた利用法を覚えていきます。**例えば、ニートと労働の規制緩和という問題については、規制緩和の主体が国であることから、政府審議会資料から調べたらどうかというように、置かれた状況に応じて、目的に適った探索スキルの使い分けをします。

「調べながら、考える」「考えながら、調べる」。行きつ戻りつするなかで、自分に取り組むべきテーマが鮮明になってきます。調べるときの“思考の道筋”を学ぶ講習会が、**「レポートテーマ探索の術」「卒論テーマ探索の術」**なのです。

4. 検索エンジンや諸統計の活用を：中級編

さらに、未知の資料や情報を探す旅はつづきます。世の中には、

「レポートテーマ探索の術」で頭の整理を

文学部4年次生
左藤由希さん



講習会では、どのようなデータベース・情報を参照すべきなのかを「基礎知識収集→入門書選択→…」と知識収集の段階ごとに教えていただきました。それまで知らなかった「新書マップ」のようなユニークな無料データベースの存在も知ることができ、その後、期末試験に際しても役立てることができました。頭の中が混乱しがちな「調査して、書く」というレポートのための作業フォーマットを明快に整理することができた講習会でした。

インターネットでの公開資料、一般書店では流通していない資料（“灰色文献”と呼ばれます）などもあり、情報世界の広さと奥深さははかりしれません。

インターネット上の、学術的で信頼性の高い情報を掘り取るには、検索エンジンを上手に使うスキルを鍛える必要があります。Yahoo!、Googleのコンボ・ボックスに1語か2語のキーワードを入れて検索し、上位にヒットしたものを適当に参照する、このような偶然に身を任せるような利用は、大学生としてはお粗末です。

大学生ならニート問題に関してインターネット上でよい資料を探すには、「ニート問題は国政上の課題になっているので、国の報告書・政策資料が公開されている可能性大」と判断し、管轄の厚生労働省、内閣府、国立国会図書館のサイトから検索をはじめるといった工夫も必要でしょう。例えば、国会図書館のサイトでは、「ニートの現状とその対策」といった議員に配付された有用な文書が簡単に発見できるはずです。国会議員は国政の課題について国会図書館に調査を依頼しているので、こうした報告書が存在し、公開されているのです。

このように、信用の出来る機関によるアンケート調査や統計類を探す方法を紹介するプログラム「ウェブ情報の効果的利用法」「政府資料の集め方」「政策・統計・経営情報の集め方」といった**“プロが教える！”講習会**では、外部から専門講師を招いて図書館で開催しています。そのほか、より詳しい情報を調べるための**主題分野別の“90分でパッチリ！”講習会**等も開催しています。

このように図書館では、図書館の魅力や、学ぶことの魅力を知ってもらうために、様々な学びの自立支援を行っています。次頁以降の情報探索の流れと講習会プログラムを参考に、各自の必要度、進捗度、切迫度に応じて利用講習会に参加してください。必ず得られるものがあるはずです。講習会で皆さんとお会いするのを楽しみにしています。

「政策・統計・経営情報の集め方」は“眼からウロコ”です

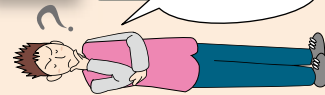
ビジネス研究科2年次生
天野絵里子さん



企業・官公庁が頼る民間調査機関の派遣講師だけあって、実践的で信頼性のある情報源を紹介してくれます。PCを使った実習課題は「バレンタインデーチョコレート売上動向」。業界団体サイトで推定販売額を探さだけでなく、消費者の視点から調査するため、総務省「家計調査」で世帯当たりのチョコレート支出額（日別統計）を調べ、2月14日前後の消費動向などを探る方法を教わりました。その後のレポート作成や発表などにしっかり役立っています。

情報探索の技

情報探索の流れと図書館講習会



課題が出される
テーマを決める
調べたいことがある

わからないうそ

手持ちの本・情報では不十分
図書館に行ってみよう！

調べ方を身に付けて
知識を増やそう！
詰め込もう！

考えながら調べる
調べながら考える、
テーマを絞ろう！
どの資料を使うか決めよう！
信頼できる資料を
入手しよう！

さらに詳しく
分野別にもテーマに迫ろう！

図書館員も活用しよう！
資料の借用、閲覧、複写、購入

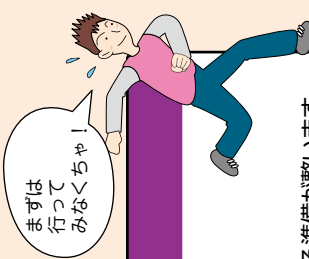
情報をまとめて
自分の意見を
表現しよう！

論文・レポート作成
プレゼンテーション準備

★入門編 [90分]

役立つ図書館活用術

こんなに違う！大学での学習
これから使う同志社大学図書館ってどんなところ？
何ができるの？を簡単に紹介します。
これであなたも図書館利用者、4年間の学生生活で図書館をフル活用する準備が整います。



★初級編 [各30分]

30分でわかる

本の探し方

基礎の基礎、本の探し方がわかります。

雑誌記事・論文の探し方

雑誌といっても種類はさまざま。まずは雑誌の種類と、その種類毎の探し方がわかります。

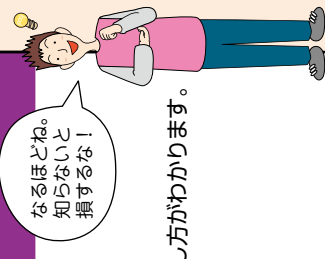
新聞記事の探し方

昔の新聞から今の新聞まで、新聞の探し方もいろいろ。
情報の宝庫、新聞の探し方がわかります。

百科事典活用術

何かを調べるには、その定義を確認することが大切です。
簡潔にわかりやすく概要や、時には関連事項まで調べられる百科事典の使い方がわかります。

その他



★中級編 [各90分]

プロが教える

レポートテーマ探索の術

課題は一つでも、人によってテーマはさまざま。
自分なりの切り口を見つけるポイントがわかります。

卒論テーマ探索の術

4年間の集大成、卒論テーマに悩む人に。
ふさわしいテーマの見つけ方を再確認できます。

ウェブ情報の効果的利用法

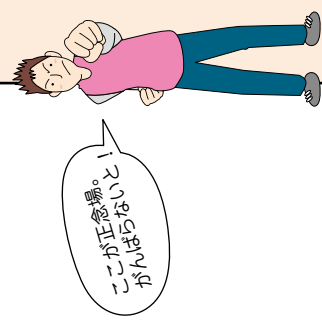
ウェブで探せる情報と探せない情報は何か？
その仕組みを知り、効果的な使い方がわかります。

政策・統計・経営情報の集め方

どんな研究でも、正確な事実や調査の確認は不可欠です。その方法がわかります。

政府資料の集め方

目立たないけれども貴重な情報源、政府資料等の種類と入手法がわかります。
その他



★中級編 [各90分]

90分でバッチリ

科学技術文献の探し方

科学技術文献の種類と特徴と、種類毎の探し方がわかります。

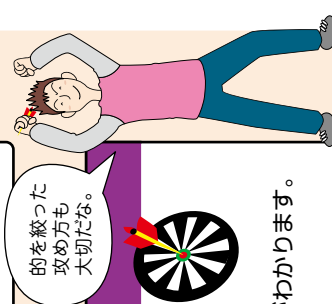
外国語文献の探し方

外国語で書かれた文献(本、雑誌、新聞、法令・判例)の探し方や入手方法がわかります。

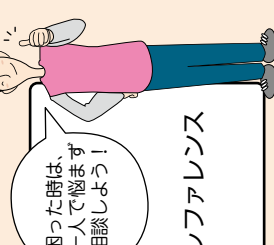
法令・判例の探し方

図書館で提供しているデータベースを使って、法令・判例の探し方、入手方法をアドバースします

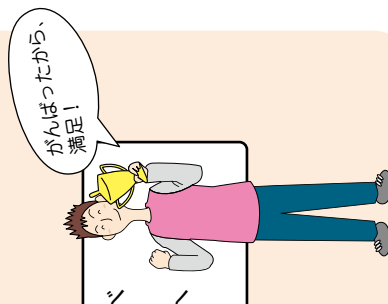
その他



情報サービス課では、この他にもさまざまな講習会を企画しています。
また、館内のレファレンスカウンターでは、他大学資料の利用(閲覧、借用、複写)申込をはじめ、「図書館の使い方がわからない」「この論文がどうしてもみつからない」などの個別相談をすることができます。
一歩一歩着実にスキルアップしていくために、講習会と合わせて是非レファレンスカウンターもご利用ください。



情報メディア課でも、資料をまとめるためのソフトウェアについて学べるパソコン利用者講習会を企画しています。
こちらの講習会も合わせてご利用ください。→ 詳しくは6～7ページへ



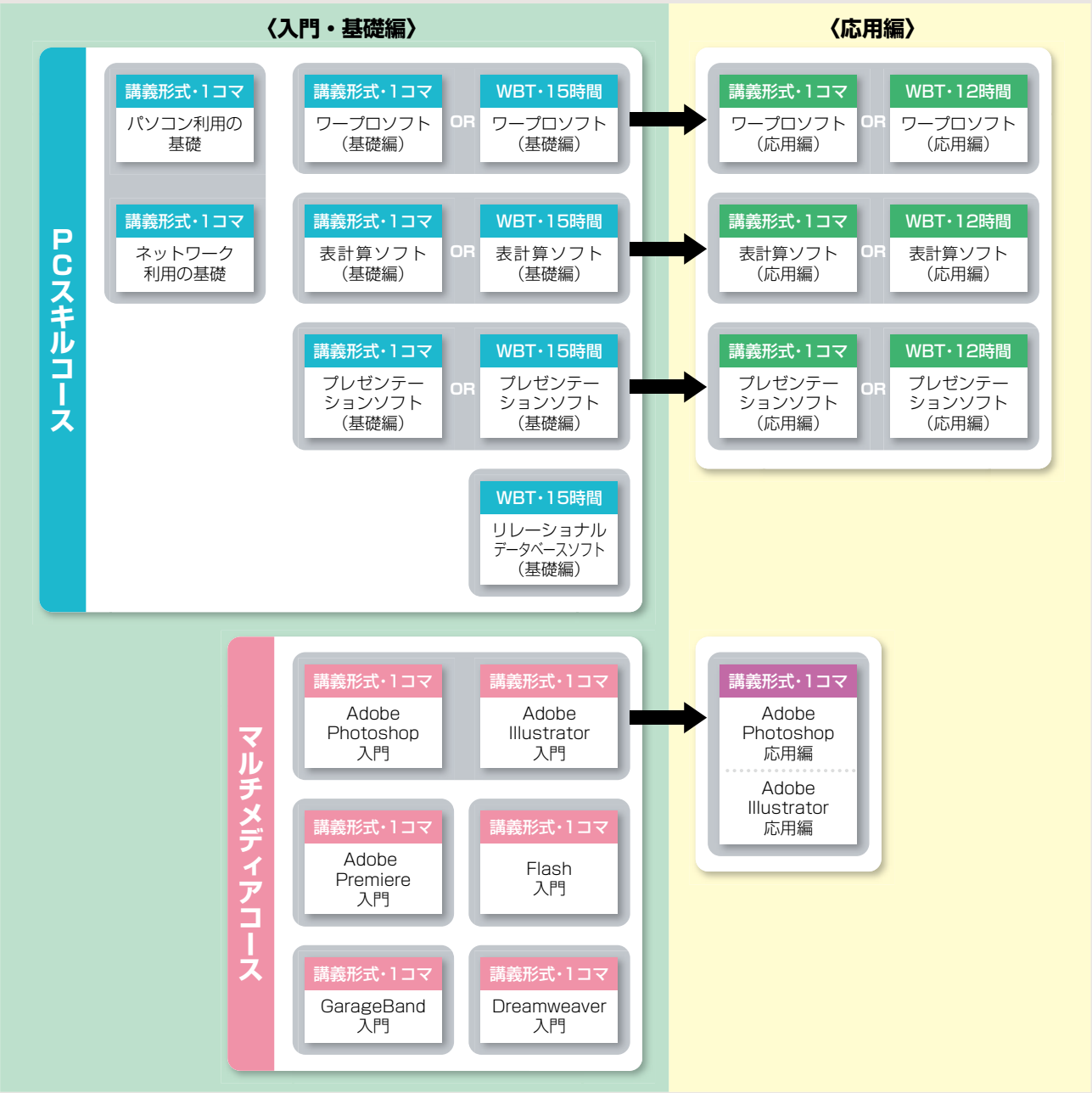
パソコン利用者講習会に参加しよう!!

2001年度から2007年度まで、情報基礎講座・情報基礎実習として、本学での情報環境の利用方法やPCやワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの基礎に関する講座を開講してきました。2008年度4月から、情報基礎講座・情報基礎実習は、パソコン利用者講習会となります。

昨年度までの情報基礎講座・情報基礎実習では、入学後の早い時期に、PCの基本操作や基本ソフトウェアの利用方法を理解することで、正課授業の中で活かしてもらう趣旨でしたが、2008年度のパソコン利用者講習会では、基礎編と応用編に分けて講座を開講するとともに、マルチメディアに関するソフトウェアの講習会も開催します。今回新しく開講する応用編の内容として、ワープロソフト応用編では、卒業論文作成に便利な機能を、表計算ソフト応用編では、具体的な統計解析に役

立つ機能を紹介する他、プレゼンテーションソフト応用編では、演習や卒業研究での発表などを想定した内容の講習を行います。このように応用編では、学生生活で実際に利用する題材を選んでおります。

新入生で基礎から学びたい方は、基礎編から順に受講してPCに関するスキルを伸ばしてもらい、新入生でPCに関する基礎ができている方や2～4年次生・大学院生の方は、今後の授業の中で必要になるであろうワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの使い方を学ぶために応用編を受講するなど、学生のレベルやニーズに合った講座を用意しています。



講義形式 ...教室やマルチメディアラウンジにて90分×1コマで完結する内容です。

WBT ...インターネットを利用したe-learning形式の講座です。約15時間をかけて学習します。

※「講義形式」と「WBT」の両方を受講することも可能です。

1. PCスキルコース

レベル	講座名	概要	受講形式
基礎	パソコン利用の基礎	パソコンの基礎知識や大学でパソコンを利用する際の注意事項を説明します。	講義形式
	ネットワーク利用の基礎	ネットワークを利用する際のルールやマナーについて説明します。	
	ワープロソフト(基礎編)	Microsoft Word2003を利用して、ワープロソフトの基本的な機能と操作方法を学習します。	講義形式
	表計算ソフト(基礎編)	Microsoft Excel2003を利用して、表計算ソフトの基本的な機能と操作方法を学習します。	WBT
	プレゼンテーションソフト(基礎編)	Microsoft PowerPoint2003を利用して、プレゼンテーションソフトの基本的な機能と操作方法を学びます。	
応用	リレーショナルデータベース(基礎編)	Microsoft Access2003を利用して、リレーショナルデータベースソフトの基本的な機能と操作方法を学びます。	WBT
	ワープロソフト(応用編)	Microsoft Word2003を利用して、卒業論文やレポート等に役立つ機能を説明します。	講義形式
	表計算ソフト(応用編)	Microsoft Excel2003を利用して、具体的な統計解析に役立つように、データベース機能やピボットテーブルや関数について説明します。	WBT
	プレゼンテーションソフト(応用編)	演習や卒業研究での発表に役立つプレゼンテーションのテクニックについて説明します。	

2. マルチメディアコース

レベル	講座名	概要	受講形式
基礎	Adobe Photoshop 入門	なにげなく撮ったデジカメの写真。後で使おうと思って改めて見てみると、なんだか少し傾いているし、ピントもぼやけていて、ちょっと使えそうにない...なんて事ありませんか? この講習では、デジカメで撮影した写真を修正・加工しながらAdobe Photoshopの基本操作を学びます。	講義形式
	Adobe Premiere 入門	ビデオカメラで撮影した映像に、タイトルを入れたり、音声をつけ加えたりしたいな...と考えたことはありませんか? この講習では、ビデオ素材のパソコンへの取り込み方法、ビデオ編集、タイトルの作成、ビデオテープへの書き出しといったAdobe Premiereの基本操作を学びます。	
	Adobe Illustrator 入門	Wordなどのワープロソフトでは自分が思っているようなデザインができない...という経験はありませんか? この講習では、写真展のDMカードを作成していきながらAdobe Illustratorの基本操作を学びます。	
	Dreamweaver 入門	ホームページを作ってみたくけれどHTMLは分からないし、レイアウトもどうすれば良いのかが分からない...。その時はDreamweaverというソフトを使えばワード感覚で簡単に、しかも美しいページを作ることが出来ます。この講習会ではDreamweaverを使って簡単なホームページを作成します。	
	Flash 入門	インターネットで見かけるアニメーションムービー、一体どのように作られているのでしょうか。この講習では、アニメーションを利用したプレゼンツールを作成しながら、様々なコンテンツ制作が可能なFlashの基本操作を学びます。	
	GarageBand 入門	簡単にBGMを作ってみたくけれど、作曲なんてできない。ビデオを編集したいけどフリー素材集のBGMでは満足いかない、と思ったことはありませんか。この講習では、知識がなくても素材をならべるセンスだけで作れる音楽作成ソフト、GarageBandを使って、曲・効果音を作る方法を学びます。(Macintoshのみの講習です)。	
応用	Adobe Illustrator 応用編 Adobe Photoshop 応用編	IllustratorとPhotoshop、少しは触れるし、ある程度自分の思っているものを作れることもできる。でも人から「こんなの作って」と頼まれると、どうやったら作れるのか...。この講習では基礎編では紹介しきれなかったPhotoshop・Illustratorの応用テクニックを学びます。	

申し込み方法や開催の日程等詳細については、パソコン利用者講習会のパンフレットを2008年4月1日以降に、各学部事務室、教務課・教務事務センターまたは情報メディア課で配布しておりますので、そちらをご覧ください。

情報検索サイト紹介

「同志社大学学術リポジトリ」の現状と今後 ～検索しよう！登録しよう！～

同志社大学学術リポジトリは、2000年から稼働している学術資料の公開システムをベースに、2007年2月から現システムで公開されています。
2008年2月現在、研究紀要(8,800論文)、研究報告書(51論文)、博士論文(要旨)(16論文)、貴重書画像(277タイトル)が本文ファイルなどで登録されています。

大学Webサイト>学術リポジトリ
図書館Webサイト>学術リポジトリ
(<http://elib.doshisha.ac.jp/>)

学術リポジトリとは？

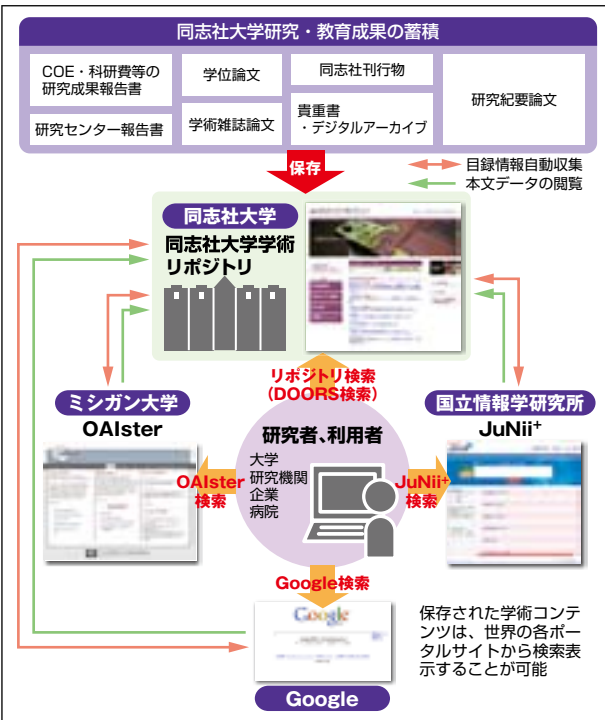
本学学術リポジトリのようなシステムは、一般的に「機関リポジトリ」と定義されています。本来「保管庫」の意味を持つリポジトリですが、ここでは「学術成果にオンラインでいつでも誰もがアクセスできるように、大学等の学術機関が責任を持って運営するサービス」を表します。Webサイトのみならず、図書館の蔵書同様に、本文データを責任を持って永久に保管する役割を担っています。日本においては2002年から普及しはじめ、2008年現在、日本では試験公開分を含め75の、世界全体では約1,000の大学・研究機関が、このリポジトリを構築し、学術成果を世界に向けて広く発信しています。

リポジトリの「相互運用性」

機関リポジトリにおいての特徴として「相互運用性」が挙げられます。各機関リポジトリは、様々なデータベースに対して目録情報を共通の形式で自動的に配信する仕組みになっています。本学学術リポジトリも、蔵書検索システムDOORSの他に、OAster(<http://www.oaister.org/>)という、ミシガン大学が提供する世界の大学・研究機関の電子リソース(電子ジャーナル)ポータルサイトで検索することができます。この他、Yahoo!やGoogleなどの一般的な検索エンジンからもアクセス可能となっています。

今後の展開

学術資料の形態は電子ジャーナルや電子ブックの普及、インターネットを利用したWebサイトでの公開など、電子媒体での流通が急速に伸びています。今後は紀要や各種報告書のみならず、学位論文(本文)や科学研究費報告書等、その他の学内研究成果・出版物についても順次公開を進める予定です。本学の教職員の



同志社大学学術リポジトリの概要図

皆さんが学術資料を発行される場合、現在紙媒体で提供されている資料についても、今後電子化を検討していただきたいと思います。学術リポジトリに登録される前提で、研究成果を作成段階からPDF形式等でデジタル化して提出いただくとスムーズにリポジトリで公開することが可能になります。

なお登録公開に当たっては著作権への留意が必要であり、特に学外の学術誌や学会誌で公開済みの資料については、学術公開の可否および方法について、当該著作権者が定める規定に従う必要があります。

学術リポジトリは近年スタートしたサービスであり、サービス内容やシステム設計において今後改善を進めてまいります。例えば研究者データベースやシラバスなどの学内データベースとの連携、学外にあるデータベースへの登録など、今後国内外のリポジトリ構築機関とさらに協調を進め、社会への情報発信に寄与したいと考えています。また、よりスムーズな検索を可能にするためのシステム性能の向上に努めてまいります。今後とも利用者の皆様のご意見・感想をお寄せください。

ご質問・お問い合わせ先

情報サービス課情報サービス係
e-mail ji-srv@mail.doshisha.ac.jp

情報検索サイト紹介

電子リソース活用術 ～バーチャル書庫の最新資料、紹介します～

同志社大学では利用者の皆さんのより充実した学習・研究活動をサポートするため、図書や雑誌のほかデータベースや電子ジャーナル等の電子リソースの収集にも力を入れています。今回は2008年より提供を始めた電子リソースをカテゴリ別にご紹介します。

※電子リソースとは：図書館Webサイトから提供している学外のデータベースや電子ジャーナル等の電子媒体資料の総称。

図書館Webサイト>情報検索：データベース検索ポータル
(<http://www.doshisha.ac.jp/library/database/index.html>)
図書館Webサイト>電子ジャーナルポータル
(<http://ck3cc4bu9u.search.serialssolutions.com/>)
情報教育環境ナビゲーション>各種マニュアル：Do！
(<http://www.doshisha.ac.jp/inside/it/manual/index.html>)
※学内のみ

新規導入電子リソースの紹介

- 1 新聞記事 『日本経済新聞(明治から戦後まで)』
日本経済新聞社提供の創刊号(1876.12)から1956年までの日本経済新聞記事全文データベース(夕刊、別刷りを含む)。
- 2 辞典・事典 『化学書資料館』 化学書資料館
日本化学会編集の「実験化学講座(第5版)」「化学便覧 基礎編(改訂5版)」「応用化学編(第5・6版)」「標準化学用語辞典(第2版)」のWeb版。収録コンテンツの統合検索並びに全文閲覧が可能。
- 3 白書・統計／企業・人物 『iJAMP』 iJAMP
時事通信社提供の行財政情報サービス。中央省庁・地方自治体の政策関連のニュースのほか、行政関連資料、行財政統計等の各種データの検索・閲覧が可能。(iJAMPのロゴは時事通信の商標または登録商標です)
- 4 雑誌記事・論文
各出版社発行の学術雑誌等の全文データベースで、収録分野それぞれの論文記事の検索と全文閲覧が可能。個々の資料に関する詳細は「情報検索：データベース検索ポータル」や情報教育環境ガイドブック「Do!」を参照のこと。

分野	電子リソース		出版社
全般		Blackwell Synergy	Blackwell Publishing
		Cambridge Journals Online	Cambridge University Press
		SAGE Premier	SAGE Publications
		Informaworld	Taylor and Francis Group／Informa Healthcare
自然		ACS Web Editions	American Chemical Society(米国化学会)
		IEL Online	IEEE(米国電気電子工学会)／IET(英国工学技術学会)
		RSC Publishing	The Royal Society of Chemistry(英国化学会)



電子リソースの利用方法

電子リソースの利用方法について知りたい場合、両校地図書館備え付けのTips(個別利用案内)や「Do!」を利用したり、図書館主催の学習・研究活動に役立つ各種利用講習会に参加してはいかがでしょうか。また、両校地図書館レファレンスカウンターでは個別相談も承っていますので、遠慮なくお問合わせください。その他、一部の電子リソースを除きVPN接続による学外利用も可能です。(講習会の詳細はP.1～5、または図書館Webサイトを参照のこと。)

電子リソース利用上の注意

電子リソースを利用の際、遵守しなければならない注意点があります。本学では「電子リソース利用ガイドライン」として取りまとめ、図書館Webサイトに公開しています。利用の前に必ずご一読いただき、適切な利用をお願いいたします。
<禁止事項> ●短時間に大量のデータ取得
●データの著作権等の侵害
●個人利用の範囲を超えた利用
また、同時アクセス数に制限のある電子リソースは、他の利用者が使える状態にして終了してください。

所蔵資料紹介

わが山旅
田淵行男山岳写真集

誠文堂新光社 1952年

所 蔵 今出川図書館 閉架書庫
請求記号 784:T746

「わが山旅」は1952年に出版された山岳写真集で、北アルプスを中心に、ハケ岳、浅間、谷川岳など1930年代からのモノクロームの写真96点を収録し、それぞれに著者による解説、紀行文が付されている。写真集の編集からカット、装丁まで著者が行ったもので、その後出版された「山の時刻」、「山の季節」などの写真集もこのスタイルで出版されている。

収録されたモノクロームの写真はカラーとは違い派手さはないが、しっかりと落ち着き、黒と白の階調が美しい。後年の写真集はカラーがほとんどになったが、この図書はモノクロームのみで構成されている。残念なのは約50年前の出版のためその後出版された写真集のモノクローム写真と比べると黒白の階調がうまく表現できていないことがある。しかしそのダイナミックな撮りかたで印刷の悪さを補い、想像力をかきたてて山の雰囲気味わうことができる。現在の印刷技術で覆刻されればよいが、ほとんどの作品がフィルムではなく乾板を使用しており、この

写真集の出版時に「原版は古きは二十数年を経ており、且つ戦争中は幾度が防空壕の湿気に曝されて相当いたんでいた」と記されているので原版からの再現は不可能であろう。

ページをめくると春夏秋冬の季節順に「春の山」では道標とピッケルから始まり、春の山麓から見た残雪の蝶ヶ岳、常念、白馬、爺ヶ岳などの北アルプス山々、上高地より木の間越しに見る焼岳、穂高連峰、「夏の山」では残雪が耀く鹿島槍、夏の日差しが感じられる焼岳、涸沢岳より望む槍ヶ岳と険しい縦走路、焼岳からの笠岳、蝶ヶ岳からみた雄大な朝の大キレット、いろいろな地点から見る穂高連峰、徳本峠から見た穂高では雲が今にも流れてゆくような気分になり、白馬頂上小屋からの残照に照り映える杓子・鐘ヶ岳では夕刻の山の荘厳さが感じられる。「秋の山」では数々のクライマーが活躍した新雪の一の倉、阿弥陀岳から石像と雲海越しの富士山、奥秩父甲武信岳の奇雲や見事な雲海、大滝小屋からの新雪の槍・穂高、キレットに沈む月、鹿島槍の霧



夏の常念・大滝(3) 蝶ヶ岳にて(朝の大キレット)



秋の後立山(8) 険絶八方キレット



夏の穂高(8) 徳本峠にて



秋の常念・大滝(3) 槍・穂高新雪(大滝小屋にて)

氷のケルン、冬の山では雪に埋もれたハケ岳の森、嵐の前の陰鬱とした赤岳、雪の縞模様が美しい浅間山、雪に埋もれた常念小屋よりの穂高連峰などで、添えられた文章を読み写真を見ていると山の爽やかさ、優しさ、厳しさなどが感じられ、その場にいるような気分になる。

山麓の安曇野から見た北アルプスの写真もあるが、今では山肌にスキー場やリフトがあったりして山の姿も変わり、麓も開発されて住宅地となり、この時代ののんびりした景色から一変していると思われる。想像力の入る余地が少ないカラーでは味わえない山の雰囲気をこれらのモノクローム写真で味わえる。

この山岳写真集で50年前の風景を思い、そのころ山を歩いて

いた尾崎喜八、深田久弥、串田孫一などの文章を読むことで一昔前の山旅を感じ取ることができる。

「日本の写真家11、田淵行男」(岩波書店 1998年)(748:N581:11今出川開架)にもモノクロームの写真52点、カラー2点が収録されている。10年前の出版なので白黒の階調の印刷はアート紙に印刷されていることもあり美しいが、写真のサイズが小さく、また写真家シリーズの中の1冊ということもあり作品の展示が主で、「わが山旅」に収録された作品も数点収録されているが、文章も添えられていないことから田淵行男の著作の雰囲気からは遠いものとなっている。